

電気設備工事特記仕様書

- 1 工事概要
- 1.1 工事名東中学校体育館外壁等耐震対策工事
- 1.2 工事場所埼玉県春日部市磯堀181番地1
- 1.3 工期契約確定日から令和 年 月 日まで
- 現場施工期間令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
- 現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。
- 1.4 工事科目（○印の付いたものを適用する）

○ 電灯設備	・ テレビ共同受信設備
・ 動力設備	・ テレビ電波障害防除設備
・ 電熱設備	・ 監視カメラ設備
・ 雷保護設備	・ 駐車場管制設備
・ 受変電設備	・ 防犯、入退室管理設備
・ 電力貯蔵設備	○ 自動火災報知設備
・ 発電設備	・ 自動閉鎖設備
・ 構内情報通信網設備	・ ガス漏れ火災警報設備
・ 構内交換設備	・ 電話配管設備
・ 情報表示設備	・ 中央監視制御設備
○ 映像、音響設備	・ 医療関係設備
○ 拡声設備（非常放送設備）	・ 昇降機設備
・ 誘導支援、呼出し設備	

- 1.5 指定部分 ○ 無 ・有（ 工期：令和 年 月 日）
- 1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）
- 1 専任期間の始期
- 請負契約締結の日から、（○現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間 ・令和 年 月 日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 2 専任期間の終期
- 工事完成后、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 3 専任期間の中断
- 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 1.7 建物概要
- 建築工事特記仕様書による
- 1.8 工事概要
- 建築工事特記仕様書による

- 1.9 同時期発注の関連工事 ・ 建築工事 ・ 機械設備工事

2 工事仕様

- 2.1 共通仕様
- （1）この工事は特記仕様書、図面によるほか、春日部市電気設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事情）、公共建築設備工事標準図（電気設備工事情）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。
- なお、市営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
- （2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
- （3）法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。
- 2.2 特記仕様（特記事項の選択項目は、○印のついたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。
- 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。）

項 目	特 記 事 項
① 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
② 施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
③ 工用電力・水	本工事に必要な電力及び水などの費用は、受注者の負担とする。
④ 工用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくことができる。
⑤ 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。
⑥ 監督員事務所	本工事で ・設ける（規模 ） ※設けない
⑦ 保 険	受注者は工事的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写し等を監督員に提出する。
⑧ 再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
⑨ 建設リサイクル法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について ※ 適用する（契約金額による） ・ 適用しない
⑩ 完成図書の納品	完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。 市営住宅の完成図の提出部数は、A3二つ折り2部とする。
⑪ 発生材処理	引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 （構外搬出処理費は、※本工事 ・ 別途） （1）引渡しを要するもの（ ） （2）買取処分をするもの（銅屑・鉄屑） （3）再生資源化を図るもの（蛍光管） 蛍光管等は再生資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。 （4）特別管理産業廃棄物（ ） ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

⑫	金属電線管の 塗装	露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。 また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。 ただし、見えかきり部の塗装については監督員の指示による。																																																																
⑬	鍵	錠等の鍵は、既存壁及び別途工事の錠との整合を極力図るものとする。																																																																
14	地中電線路	(1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。 <table><tr><th>敷き均し土</th><th>管 種 別</th></tr><tr><td>良質土</td><td>硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)</td></tr></table> (2) 地中電線路には、ケーブル埋設機及び標識シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の標識シートは図面特記による。 (3) 地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面（舗装する部分では路盤材下面）から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。	敷き均し土	管 種 別	良質土	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)																																																												
敷き均し土	管 種 別																																																																	
良質土	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)																																																																	
⑮	回路の種別 行先の表示	ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。																																																																
⑯	電線の接続	湿気が多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻くとする。 上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。																																																																
⑰	電線管の接続	屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。																																																																
⑱	接地工事	漏電遮断機で保護されている電路と保護されていない電路のD種接地極が共用していない場合の接地線は、湿触防止のため、緑色、緑／黄又は緑／赤帯で区別する。																																																																
19	建設発生土の 処理	埋戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・構外搬出適切処理する。																																																																
20	再生砂・再生砕石 再生アスコン使用	契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、表層以外において監督員の了解を得た上で、 ・使用できる。 ※使用できない。 再生砂使用に先立ち、1 購入あたり1 検体の六面クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。																																																																
㉑	耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針」（独立行政法人建築研究所監修）による。 なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。 (1) 設計用水平地震力 機器の重量〔kg〕に、設計用水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。 <table><tr><th colspan="6">設計用標準水平震度</th></tr><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td rowspan="3">上層階 屋上及び塔屋</td><td>機 器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td>水 槽 類(※1)</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td rowspan="3">中間階</td><td>機 器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水 槽 類(※1)</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="3">地下・1階</td><td>機 器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水 槽 類(※1)</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></table> 【備 考】(※1)：水槽類には、オイルタンク等を含む。 重要機器 ・配電盤 ・発電装置(防災用) ・直流電源装置 ・交流無停電電源装置 ・交換機 ・火災報知器受信機 ・中央監視装置 ・太陽光発電装置 上層階の定義は次による。 2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。 (2) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。	設計用標準水平震度						設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水 槽 類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0	中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水 槽 類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6	地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水 槽 類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
設計用標準水平震度																																																																		
設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設																																																														
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																													
上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																													
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																													
	水 槽 類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0																																																													
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																													
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																													
	水 槽 類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6																																																													
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																													
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																													
	水 槽 類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6																																																													
㉒	あと施工アンカー	機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。 施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。 （原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。） あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。																																																																
㉓	はつり及びあと 施工アンカー打設	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。 電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。																																																																
㉔	改修部分の足場	本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。 (1) 内部足場 ※ 脚立足場 (2) 外部足場 ※ A種(枠組足場)・B種・C種・D種・E種・F種 ※足場を設ける場合は、「「手すり先行工法等に関するガイドライン」について」（厚生労働省令）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」の2の(1)手すり搬置方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行うものとする。																																																																
㉕	壁落制止用器具 (フルハーネス型)	※使用を要する 壁落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン による ・使用を要しない																																																																

㉖ 施工計画書	※施工に先立ち、次の施工計画書を提出し監督員の承認を受ける ※総合施工計画書（工程・品質・安全・環境配慮・仮設計画等を含む） ※工種別施工計画書 ・電力設備工事 ・受変電設備工事 ・電力貯蔵設備工事 ・発電設備工事 ・通信、情報設備工事 ・中央監視制御設備工事 ・医療関係設備工事 ・昇降機設備工事 ※その他監督員が必要と認めるもの
27 アスベスト事前 調査結果の報告	全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を建築物士綿含有建材調査者により実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告する。
㉘ その他	（1）施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。 （2）本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。 （3）本工事に使用する機器は、事前に性能等記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。 （4）本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。 （5）特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。 （6）改修工事等を実施する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。 （7）受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように締密に打合せを行うこと。 （8）本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。 （9）特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。 （10）工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。 以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

- 2.3 工事別一般事項（特記事項選択項目は、○印のついたものを適用する）

項 目	特 記 事 項
① 電灯設備	（1）配線器具 スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は運用形とする。なお、2口コンセントは様式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。 ただし、市営住宅における住戸内のフラッシュプレートについては、樹脂プレートを使用することができる。 コンセント・器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 （2）照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものである。 （3）照度測定 電灯設備工事に際し、新営工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS C 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。 （4）分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 （5）継接 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが10mm程度以上離れる場合は継接を使用する。ただし、ボード張りで、ボード裏面と塗りしろカバーの間に離れないように施工した場合は、継接を必要としない。 （6）位置ボックスの省略 ケーブルががし配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略してもよい。
2 動力設備	（1）動力制御盤及び開閉器箱の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。 （2）電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。
3 雷保護設備	受雷部突針はL R 1とする。
4 受変電設備	高 圧 引 込 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。 高圧ケーブル端末部はシースずれ防止対策を施す。 （端末処理 ・耐塩用 ・一般用） 受 電 電 圧 交流3相3線式 6.6kV 50Hz 柱上用高圧気中 定格電圧 7. 2kV 定格電流 A 負荷開閉器(PAS) 動力用 kVA× 台 主 遮 断 装 置 定格電圧 kV 定格遮断電流 kA 変圧器設備容量 動力用 kVA× 台 電灯用 kVA× 台 高圧進相コンデンサ kVar× 台 直列リアクトル ・6％ ・13％ kVar× 台
5 構内情報通信 網設備	ネットワーク機器を壁内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。
6 電力貯蔵設備	・直流電源装置 ・交流無停電電源装置 ・（概要）
7 発電設備	・ディーゼル発電装置 ・ガスエンジン発電装置 ・ガスタービン発電装置 ・マイクロガスタービン発電装置 ・燃料電池発電装置 ・熱併給(コージェネレーション)発電装置 ・太陽光発電装置 ・風力発電装置 ・（概要）

8 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
⑨ 自動火災報知設備、 ガス漏れ火災警報 設備、拡声設備 （非常放送設備）	（1）所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に倣い施工する。 （2）総合壁内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 （3）ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
10 昇降機設備	特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事情）による。 なお、市営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

- 2.4 取付高さ
- 壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名 称	測 点	取付高さ（mm）	
		一 般	市営住宅
スイッチ（一般）	床下～中心	1,300	1,200
〃（身体障害者用）	〃	1,100	1,000
〃（人感センサー切換用）	〃	2,000	2,000
ｺﾝﾍﾞｰﾄ、電話用ﾌﾗｯｼｭﾄ、直列ｺﾝﾍﾞｰﾄ	〃	300	400
〃（和室）	〃	150	200
〃（台所）	台上～中心	150	500
防水型コンセント	床下～中心	500	500
分電盤・制御盤・開閉器箱	〃	(上端1,900以下)1,500	(上端1,900以下)1,500
呼出ボタン（身体障害者用）	〃	900	900
復帰ボタン（ 〃 ）	〃	1,800	1,800
廊下表示灯（ 〃 ）	〃	2,000	2,000
端子盤	〃	(上端1,900以下)1,500	2,000

3 その他

- 3.1 他工事との取合区分
- 発注図又は工事区分表による。
- 3.2 図面上の縮尺
- 図面上の縮尺は、J I S A 1版とした縮尺とする。
- 3.3 疑義
- 本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。
- 3.4 工事用図面
- 工事用着手時原設計図 縮小製図（A3版 A3以上の設計図はA3に縮小）
※要（ 部 ） ・不要

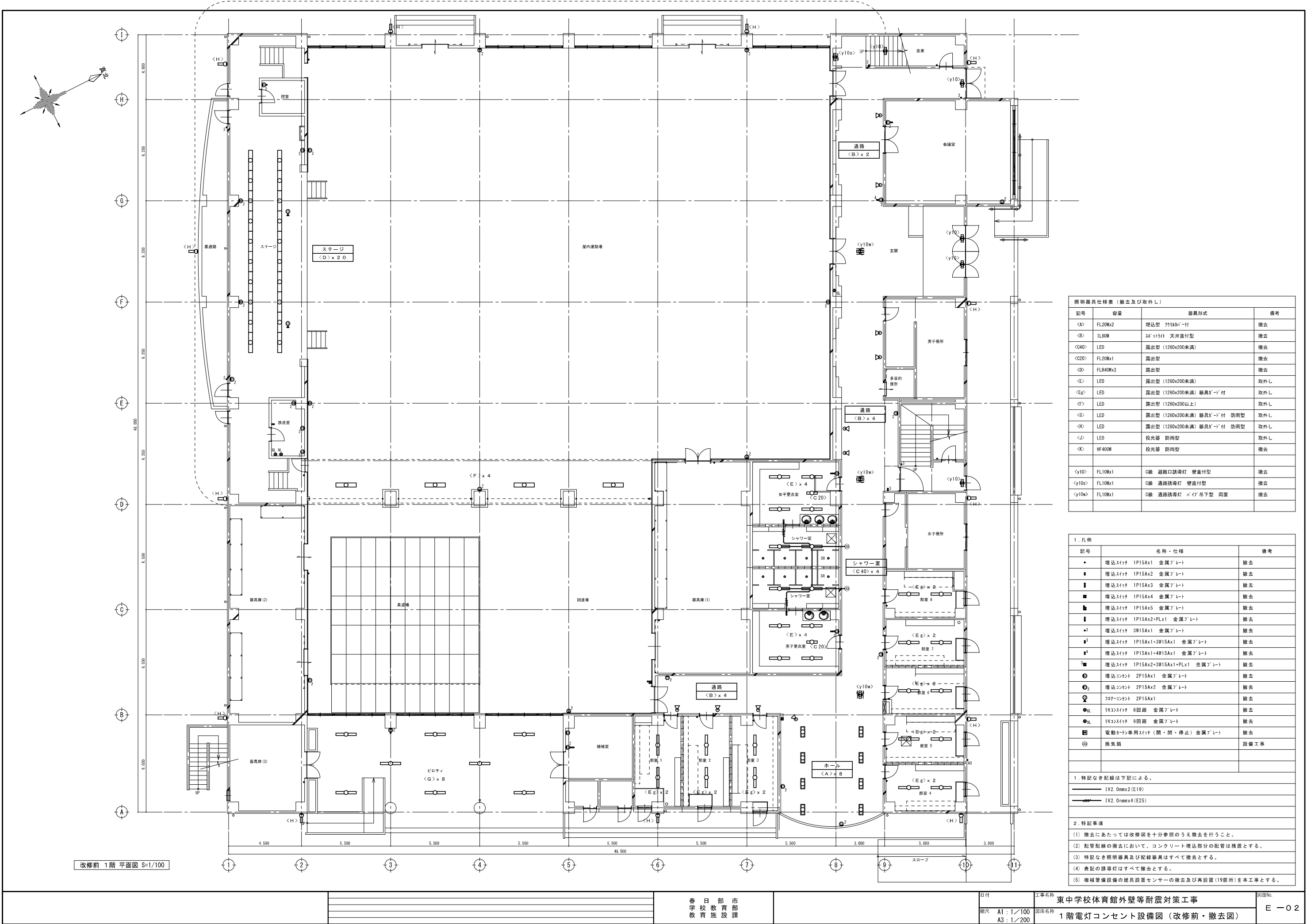
舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

- 第1条 この特記仕様書は、春日部市電気設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。
- 第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。
・種類及び処理量 汚泥（油分を含む汚泥） m3
・中間処理施設 市 地内、（株）
・処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却又は溶融含まず）
・中間処理後、最終処分場又は再資源化（処理に焼却又は溶融を含む）
- 2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。
- 第3条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。
- 2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。
- 3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。
- 4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。
- 第4条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。
- 2 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。
- 第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。
- 2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。
- 3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

昇降機の適切な維持管理に係る特記仕様書

- 第1条 この特記仕様書は、昇降機設備工事（新設、増設又は更新）において、昇降機を常時適法な状態に維持できるよう必要な事項を定める。なお、この特記仕様書に記載されていない事項は、「昇降機の適切な維持管理に関する指針」による。
- 第2条 この特記仕様書における用語の定義は、次の各号による。
- 2 昇降機とは、本工事で施工した昇降機設備をいう。
- 3 発注者とは、本工事の発注者をいう。
- 4 受注者とは、本工事の受注者をいう。
- 5 製造者とは、昇降機の製造者をいう。
- 6 管理者とは、昇降機の引渡しを受け、施設管理を行う者をいう。
- 7 保守点検受注者とは、管理者からの委託により、保守・点検業務を受注した者をいう。
- 第3条 製造者または受注者は、次の各号に掲げる責任を果たすよう努めなければならない。
- 2 製造者は、製造した昇降機の部品等を、昇降機の引渡しから起算して耐用年数を勘案して適切な期間供給すること。
- 3 製造者は、適切な維持管理を行うことができるよう、管理者に対して維持管理に必要な情報又は機材を提供又は公開するとともに、問い合わせ等に対応する体制を整備すること。
- 4 製造者は保守点検受注者からの依頼に協力すること。
- 5 受注者は、製造者に対し、前各号の規定を遵守するよう要請すること。
- 第4条 この特記仕様書に定めのない事項については、必要に応じて発注者と受注者が協議して定める。

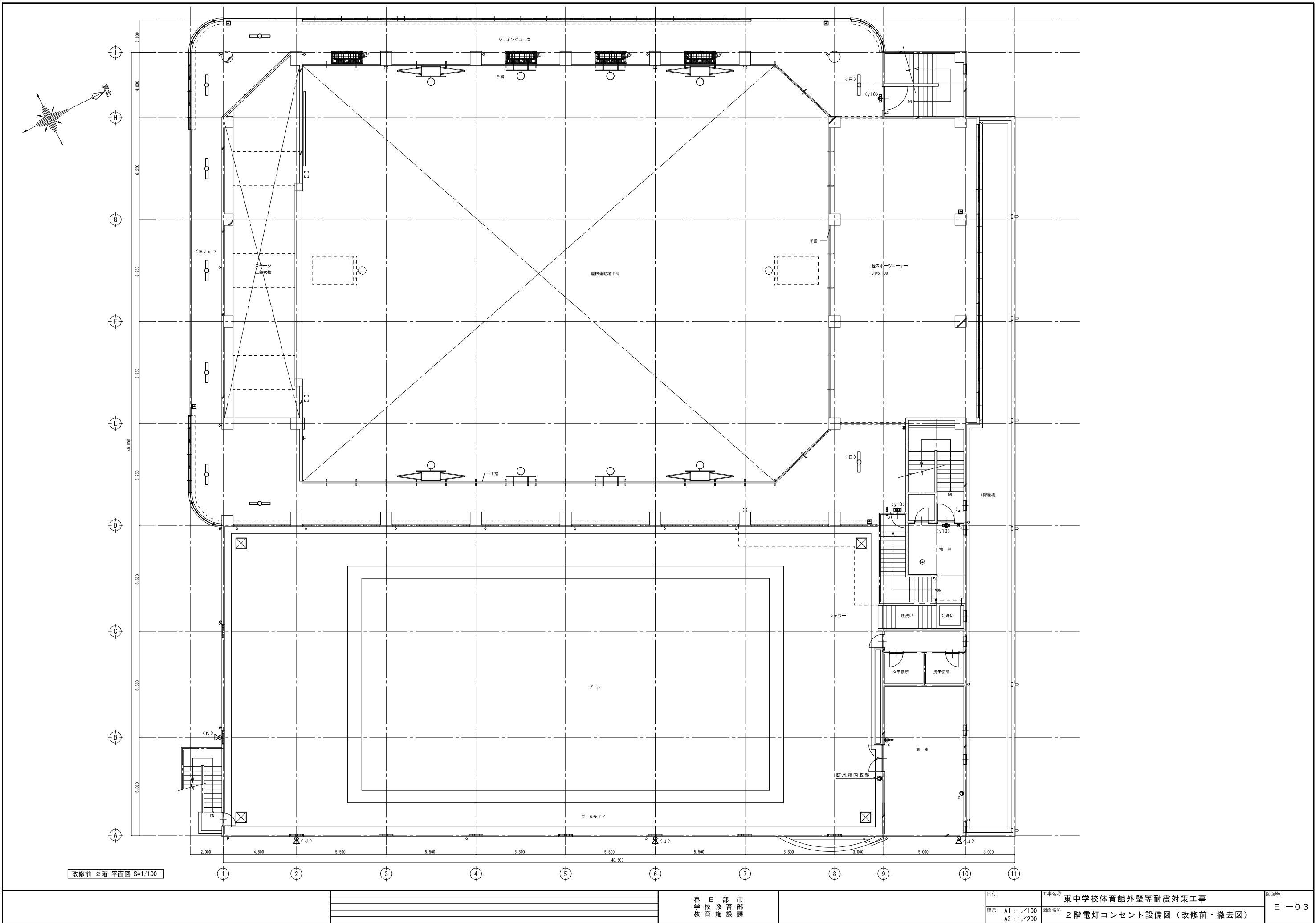
官公庁等打ち合わせ相手	
建築：	
昇降機：	
施設管理者：	
電力会社：	
電話会社：	
ケーブルテレビ会社：	
消防本部：	



照明器具仕様表（撤去及び取外し）			
記号	容量	器具形式	備考
<A>	FL20Wx2	埋込型 770mm幅付	撤去
	IL60W	ｽﾀﾝﾄﾞ ﾏｲﾌﾟ 天井直付型	撤去
<C40>	LED	露出型 (1260x200未満)	撤去
<C20>	FL20Wx1	露出型	撤去
<D>	FLR40Wx2	露出型	撤去
<E>	LED	露出型 (1260x200未満)	取外し
<Eg>	LED	露出型 (1260x200未満) 器具ｶﾞｰﾄﾞ付	取外し
<F>	LED	露出型 (1260x200以上)	取外し
<G>	LED	露出型 (1260x200未満) 器具ｶﾞｰﾄﾞ付 防雨型	取外し
<H>	LED	露出型 (1260x200未満) 器具ｶﾞｰﾄﾞ付 防雨型	取外し
<J>	LED	投光器 防雨型	取外し
<K>	HF400W	投光器 防雨型	撤去
<y10>	FL10Wx1	C級 避難口誘導灯 壁直付型	撤去
<y10s>	FL10Wx1	C級 通路誘導灯 壁直付型	撤去
<y10w>	FL10Wx1	C級 通路誘導灯 ﾎｲｯﾌﾟ吊下型 両面	撤去

1. 凡例		
記号	名称・仕様	備考
•	埋込ｽｲｯﾁ 1P15Ax1 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	撤去
■	埋込ｽｲｯﾁ 1P15Ax2 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	撤去
■	埋込ｽｲｯﾁ 1P15Ax3 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	撤去
■	埋込ｽｲｯﾁ 1P15Ax4 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	撤去
■	埋込ｽｲｯﾁ 1P15Ax5 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	撤去
■	埋込ｽｲｯﾁ 1P15Ax2+PLx1 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	撤去
●	埋込ｽｲｯﾁ 3W15Ax1 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	撤去
■	埋込ｽｲｯﾁ 1P15Ax1+3W15Ax1 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	撤去
■	埋込ｽｲｯﾁ 1P15Ax1+4W15Ax1 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	撤去
■	埋込ｽｲｯﾁ 1P15Ax2+3W15Ax1+PLx1 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	撤去
●	埋込ｺﾝﾚｯﾄ 2P15Ax1 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	撤去
●	埋込ｺﾝﾚｯﾄ 2P15Ax2 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	撤去
●	ﾌｫｰﾑｺﾝﾚｯﾄ 2P15Ax1	撤去
●	ﾘﾓﾝｽｲｯﾁ 6回路 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	撤去
●	ﾘﾓﾝｽｲｯﾁ 9回路 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	撤去
■	電動ｶｰﾅｰﾝ専用ｽｲｯﾁ (開・閉・停止) 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	撤去
■	換気扇	設備工事

1. 特記なき配線は下記による。
- 1V2. 0mmx2 (E19)
- 1V2. 0mmx4 (E25)
2. 特記事項
- (1) 撤去にあたっては改修図を十分参照のうえ撤去を行うこと。
- (2) 配管配線の撤去において、コンクリート埋込部分の配管は残置とする。
- (3) 特記なき照明器具及び配線器具はすべて撤去とする。
- (4) 表記の誘導灯はすべて撤去とする。
- (5) 機械警備設備の建具設置センサーの撤去及び再設置 (19箇所) を本工事とする。



改修前 2階 平面図 S=1/100

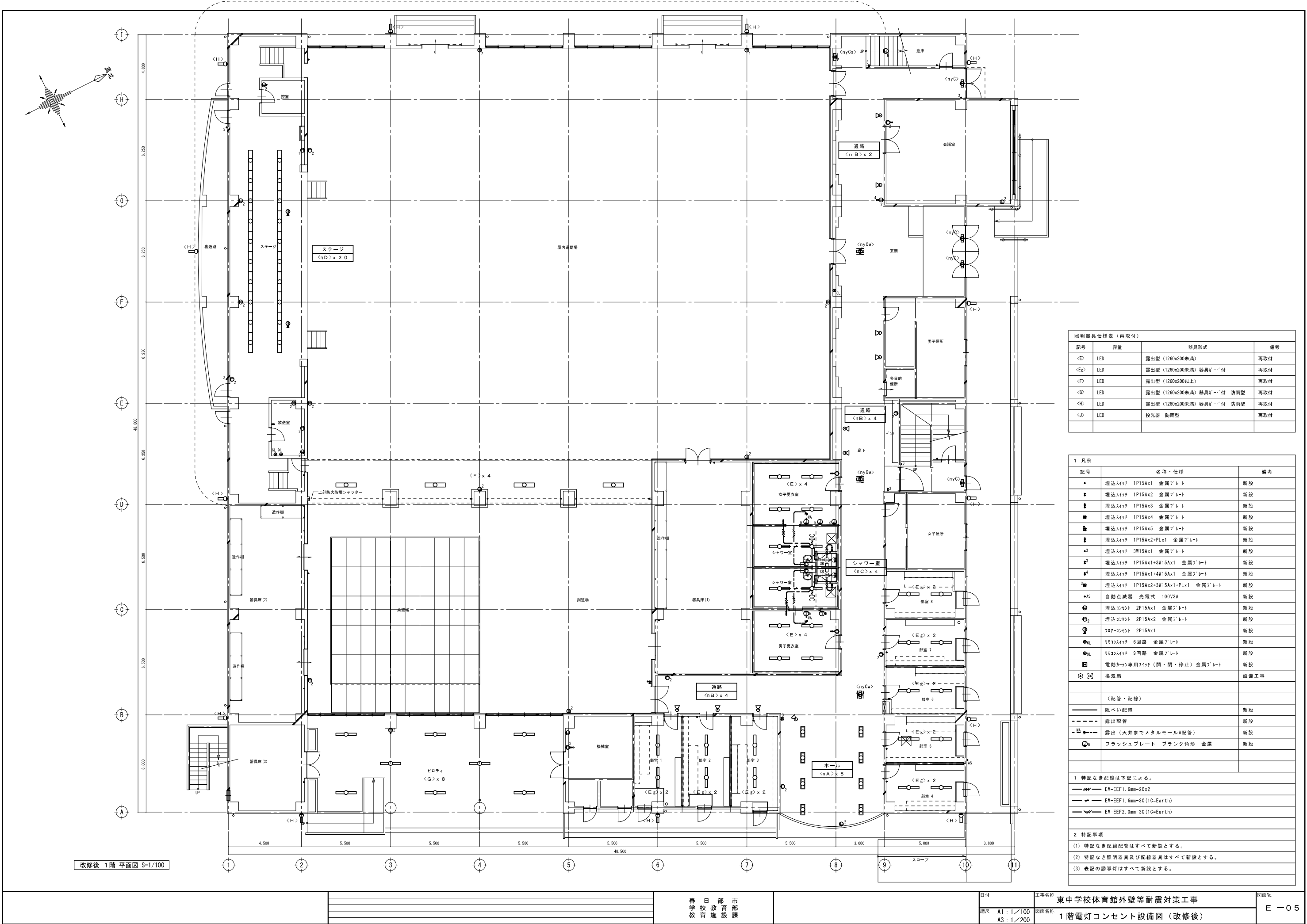
春日部市
学校教育課
教育施設課

日付	工事名称	図面No.
図尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	東中学校体育館外壁等耐震対策工事 2階電灯コンセント設備図 (改修前・撤去図)	E-03

照明器具姿図（新設）

[illegible]

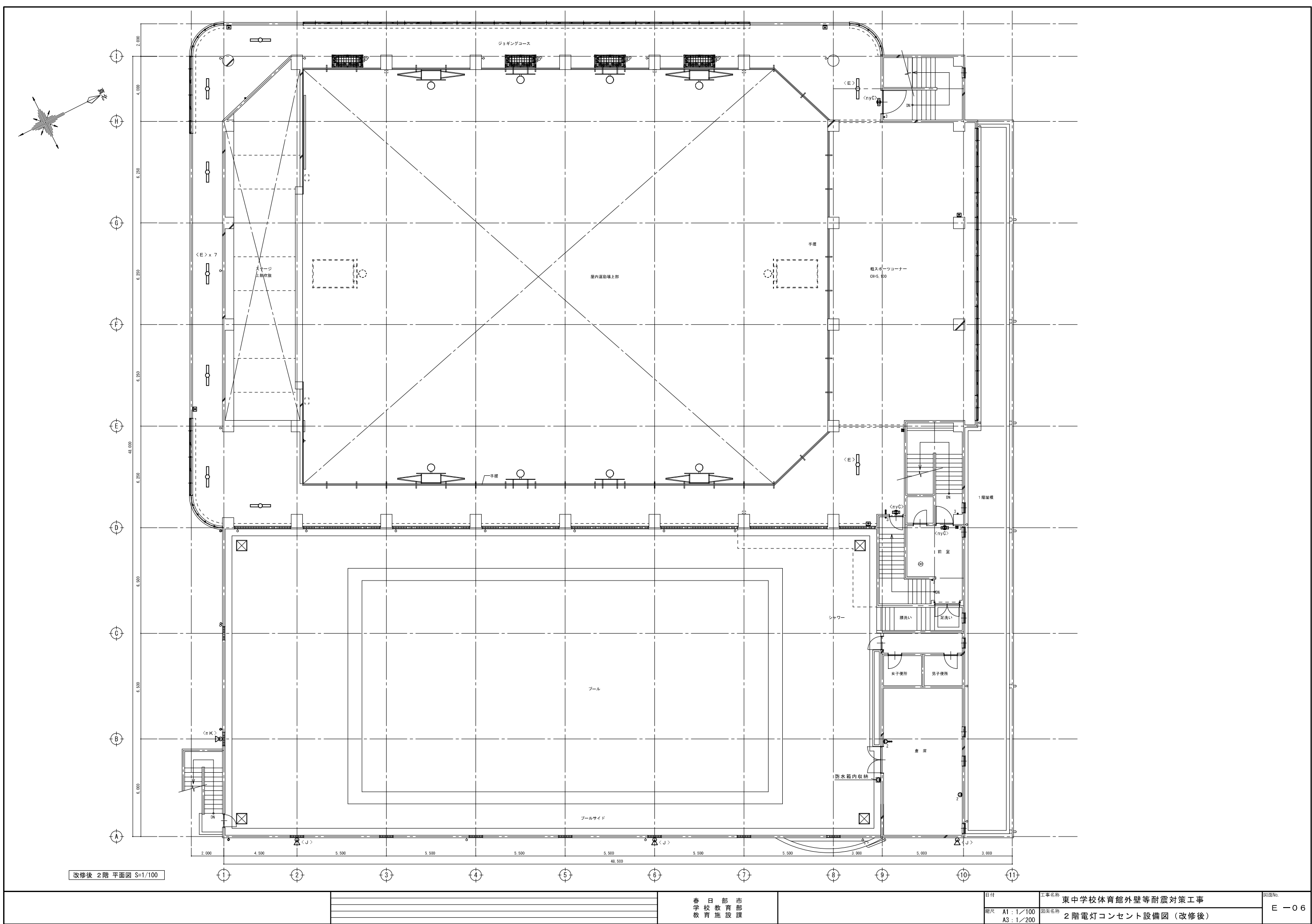
注記) 上記器具姿図は参考とする。



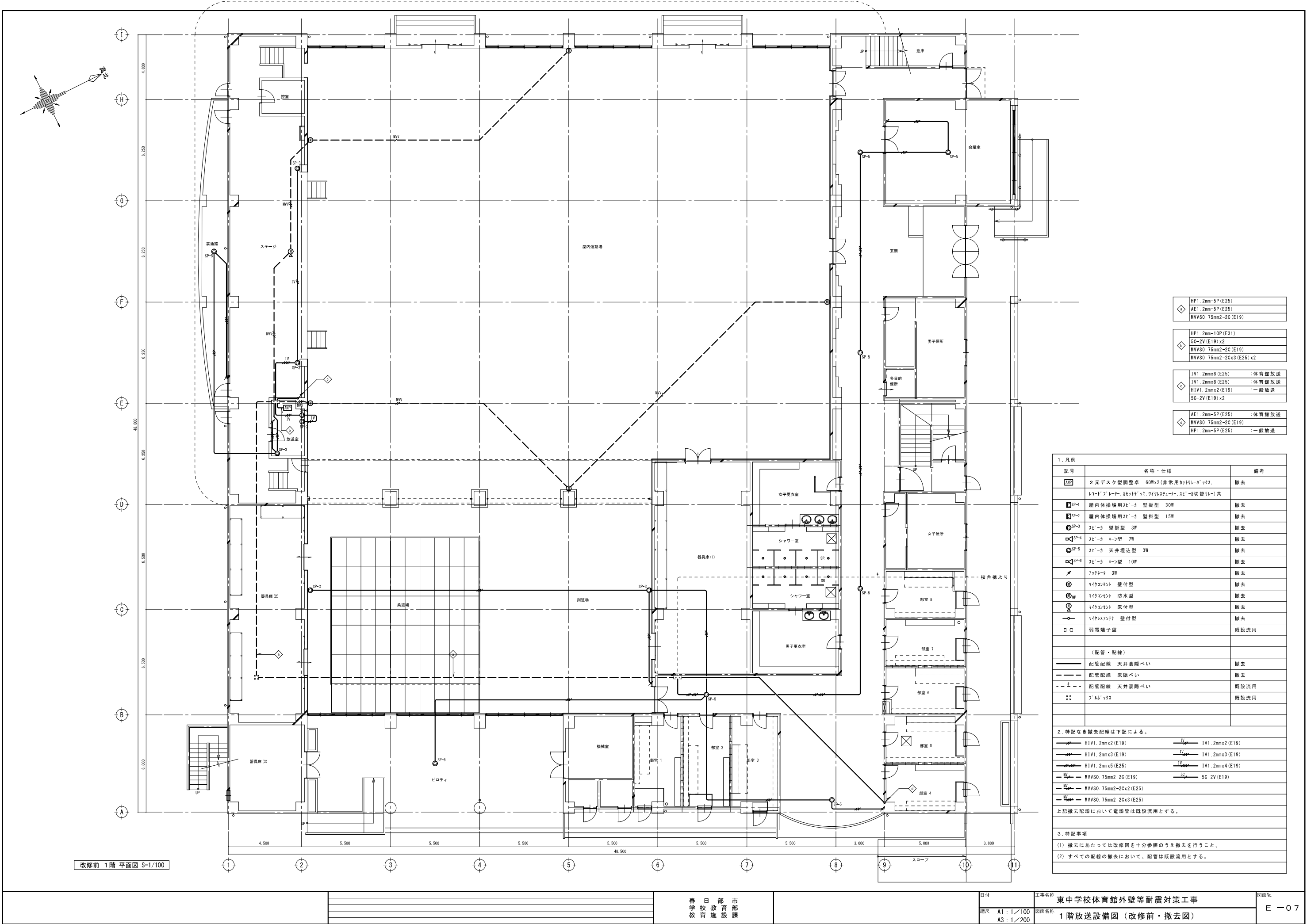
照明器具仕様表 (再取付)			
記号	容量	器具形式	備考
<E>	LED	露出型 (1260x200未満)	再取付
<Eg>	LED	露出型 (1260x200未満) 器具グッド付	再取付
<F>	LED	露出型 (1260x200以上)	再取付
<G>	LED	露出型 (1260x200未満) 器具グッド付 防雨型	再取付
<H>	LED	露出型 (1260x200未満) 器具グッド付 防雨型	再取付
<J>	LED	投光器 防雨型	再取付

1. 凡例		
記号	名称・仕様	備考
●	埋込スイッチ 1P15Ax1 金属プレート	新設
■	埋込スイッチ 1P15Ax2 金属プレート	新設
■	埋込スイッチ 1P15Ax3 金属プレート	新設
■	埋込スイッチ 1P15Ax4 金属プレート	新設
■	埋込スイッチ 1P15Ax5 金属プレート	新設
■	埋込スイッチ 1P15Ax2+PLx1 金属プレート	新設
■	埋込スイッチ 3W15Ax1 金属プレート	新設
■	埋込スイッチ 1P15Ax1+3W15Ax1 金属プレート	新設
■	埋込スイッチ 1P15Ax1+4W15Ax1 金属プレート	新設
■	埋込スイッチ 1P15Ax2+3W15Ax1+PLx1 金属プレート	新設
●AS	自動点滅器 光電式 100V3A	新設
●E	埋込コンセント 2P15Ax1 金属プレート	新設
●E2	埋込コンセント 2P15Ax2 金属プレート	新設
●E3	フットコンセント 2P15Ax1	新設
●EL	リモコンスイッチ 6回路 金属プレート	新設
●EL	リモコンスイッチ 9回路 金属プレート	新設
■	電動カーテン専用スイッチ (開・閉・停止) 金属プレート	新設
■	換気扇	設備工事
—	(配管・配線)	
—	隠ぺい配線	新設
---	露出配管	新設
---	露出 (天井までメタルモールA配管)	新設
●	フラッシュプレート プランク角形 金属	新設

1. 特記なき配線は下記による。
- EM-EFF1.6mm-2C×2
 - EM-EFF1.6mm-3C (1C=Earth)
 - EM-EFF2.0mm-3C (1C=Earth)
2. 特記事項
- (1) 特記なき配線配管はすべて新設とする。
- (2) 特記なき照明器具及び配線器具はすべて新設とする。
- (3) 表記の誘導灯はすべて新設とする。



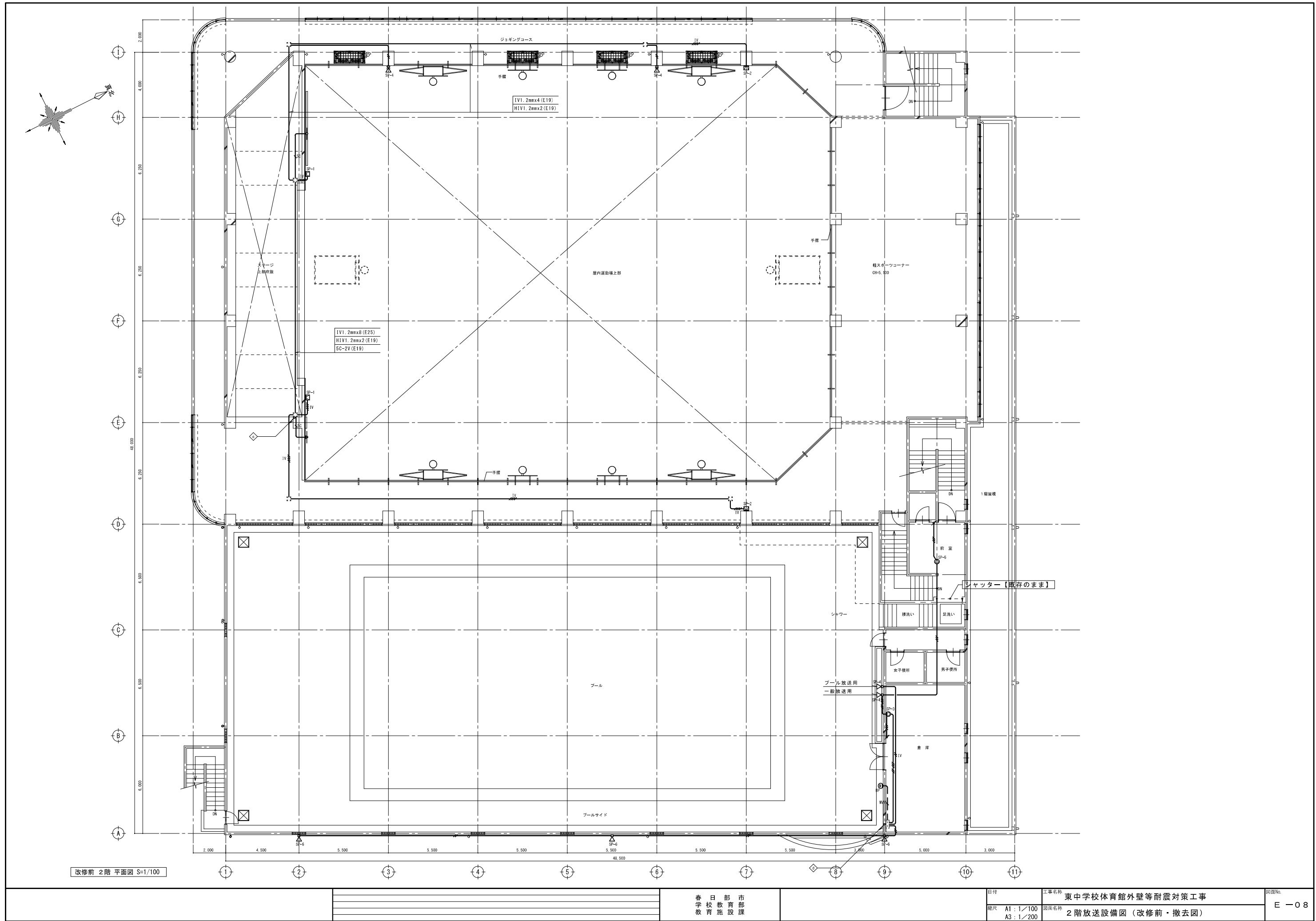
改修後 2階 平面図 S=1/100



◇	HP1. 2mm-5P (E25)	
	AE1. 2mm-5P (E25)	
	WVVS0. 75mm2-2C (E19)	
◇	HP1. 2mm-10P (E31)	
	5C-2V (E19) x2	
	WVVS0. 75mm2-2C (E19)	
	WVVS0. 75mm2-2C x3 (E25) x2	
◇	IV1. 2mmx8 (E25)	体育館放送
	IV1. 2mmx8 (E25)	体育館放送
	HIV1. 2mmx2 (E19)	一般放送
	5C-2V (E19) x2	
◇	AE1. 2mm-5P (E25)	体育館放送
	WVVS0. 75mm2-2C (E19)	
	HP1. 2mm-5P (E25)	一般放送

1. 凡例		
記号	名称・仕様	備考
■	2元デスク型調整卓 60Wx2 (非常用カットリレー付)	撤去
レコード・プレイヤー、レコード・プレイヤー、ワイヤレス・スピーカー・セット (共)		
SP-1	屋内体操場用スピーカー 壁掛型 30W	撤去
SP-2	屋内体操場用スピーカー 壁掛型 15W	撤去
SP-3	スピーカー 壁掛型 3W	撤去
SP-4	スピーカー ホン型 7W	撤去
SP-5	スピーカー 天井埋込型 3W	撤去
SP-6	スピーカー ホン型 10W	撤去
フタ付	フタ付 3W	撤去
マイク	マイク 壁付型	撤去
防水	マイク 防水型	撤去
床付	マイク 床付型	撤去
ワイヤレス	ワイヤレス 壁付型	撤去
端子	端子 端子型	既設流用
〈配管・配線〉		
配管	配管 天井裏隠し	撤去
配管	配管 床下隠し	撤去
配管	配管 天井裏隠し	既設流用
ケーブル	ケーブル	既設流用
2. 特記なき撤去配線は下記による。		
HIV1. 2mmx2 (E19)	IV1. 2mmx2 (E19)	
HIV1. 2mmx3 (E19)	IV1. 2mmx3 (E19)	
HIV1. 2mmx5 (E25)	IV1. 2mmx4 (E19)	
WVVS0. 75mm2-2C (E19)	5C-2V (E19)	
WVVS0. 75mm2-2C x2 (E25)		
WVVS0. 75mm2-2C x3 (E25)		
上記撤去配線において電線管は既設流用とする。		
3. 特記事項		
(1) 撤去にあたっては改修図を十分参照のうえ撤去を行うこと。		
(2) すべての配線の撤去において、配管は既設流用とする。		

改修前 1階 平面図 S=1/100



改修前 2階 平面図 S=1/100

春日部市
学校教育課
教育施設課

日付

工事名称 東中学校体育館外壁等耐震対策工事

図面No.

E-08

縮尺

A1: 1/100
A3: 1/200

図面名称 2階放送設備図 (改修前・撤去図)

[illegible]

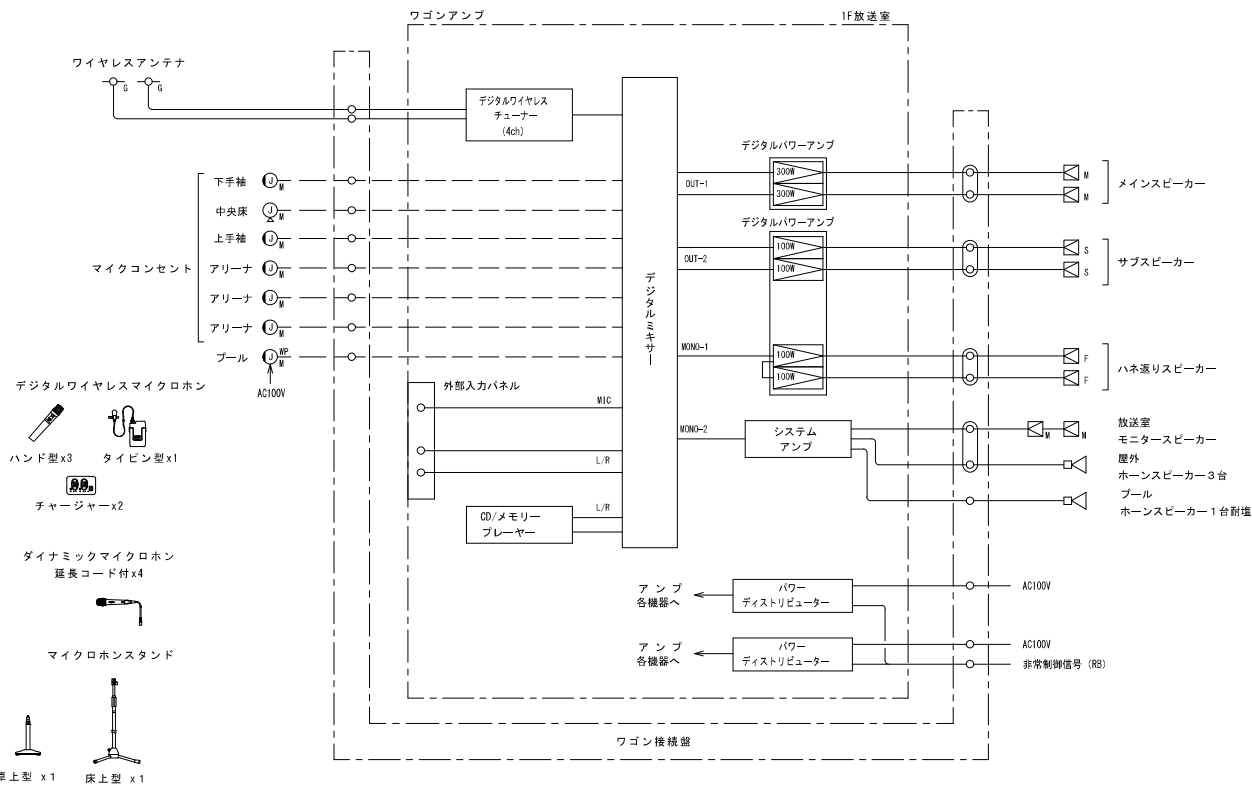
図線番号	回路名称	スピーカー								合計 (W)
										
		1W	1W	1W	1W	1W	6W	10W		
①	1階 放送室、部室、剣道場、柔道場、他	11	13	1	3	7				35
	2階 屋内運動場、プール、倉庫、他		11	1	1		1	2		39
	計 (台)	11	24	2	4	7	1	2		
	合計 (W)	11	24	2	4	7	6	20		72

シンボル	品 名
	天井埋込型スピーカール (ATT埋)
	天井埋込型スピーカール (ATT付)
	天井露出型スピーカール (ATT露)
	壁埋込型スピーカール (ATT埋)
	壁埋込型スピーカール (ATT付)
	ホーンスピーカール (OR、耐震仕様)
	ホーンスピーカール (IOW)
	アンテナネット
	非常電号

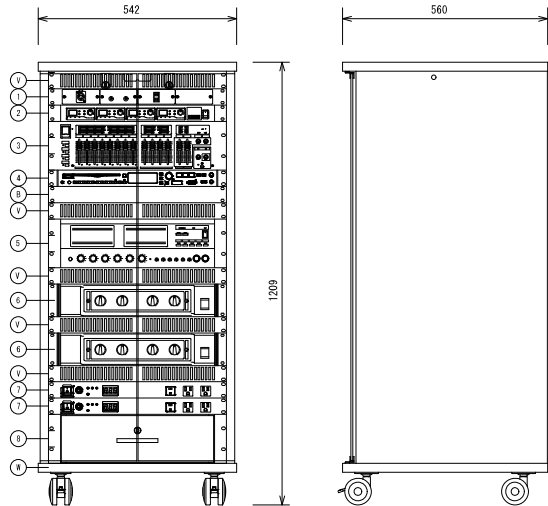
図 1 外形寸法

スピーカーユニット	12 cm防滴型
定格入力	6 W/3 W/1 W
出力音圧レベル	96 dB/W (1 m)
周波数特性	150 Hz～15 kHz
入力インピーダンス	1.7 kΩ/3.3 kΩ/10 kΩ
防水保護等級	IPX4準拠 (JIS G 0920-2003)
使用温度範囲	-30 ℃～+60 ℃
その他	全員耐塩塗装

体育館 音響設備 ブロック図

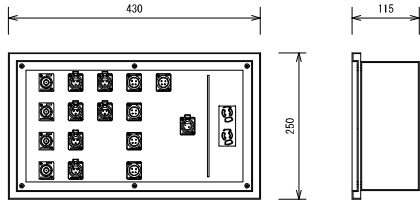


ワゴンアンプ



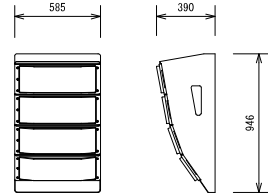
No	名 称	仕 様
1	外部入力パネル	
	コネクタ	XLR-3-31-F77相当 x1、RCAx2
	ACコンセント	
2	デジタルワイヤレスチューナー	
	受信方式	ダイバシティ・ダブルスーパーヘテロダイン
	受信周波数	800 MHz帯の30波から最大4波を受信
	出 力	チューナー x4、選舎
	機 能	セキュリティ、チャンネルサーチ
3	デジタルミキサー	
	入 力	モノラル x8 (ファンタム電源 +48V供給可能)
	出 力	ステレオ x4、コントローラー x1
	デジタルオーディオ出力	ステレオ x2、モノラル x2、録音 x1
	USB Type-C	x1、入力：2ch、出力：2ch
	周波数特性	20 Hz～20 kHz
	付加機能	マトリクス、ハウリングサプレッサー (6素子)、入出力コライザー、ディレイ、コンプレッサー
	パターンメモリー	16 (内4パターンは前面スイッチで選択可能)
4	CD/メモリープレーヤー	
	対応メディア	CD、CD-R/RW、USB、SD、SDHC
	再生フォーマット形式	CD-DA、MP3/MMA/MVA/MAC
	Bluetooth	対応A2DPコーデック：SBC、AAC、aptX
	FM/AMチューナー	FM：76～108 MHz、AM：522～1,629 kHz
	外部入力	ステレオミニジャック (前面)
5	システムアンプ	
	定格出力	80 W (ハイインピーダンス)
	スピーカー制御出力	5回線
	入 力	マイク x2、マイクノ外部 (切替) x2、外部 x2、リモコンマイク、ページング、パワーアンプ、マイクインサクション
	出 力	録音、ライン
	外部制御	スピーカー回線選択入力、非常時音声遮断入力
6	パワーアンプ	
	定格出力	100 W x4 (8 Ω)、150 W x4 (4 Ω)
	2チャンネル出力	300 W x2 (8 Ω)
	周波数特性	20 Hz～20 kHz (8Ω、1W出力時)
	S/N	100 dB以上
	入力インピーダンス	20 k Ω
7	パワーディストリビューター	
	AC100 V入力	15 Aサーキットブレーカー x1
8	EIA引き出し	
	収納合計質量	5 kg以下
W	EIAワゴン	キャスター、壁付強化ガラス扉 (270° 開閉可)
	材 質	木製 (EIAマウントタイプ)
V	ベンチレートパネル	
B	ブラックパネル	

ワゴン接続盤



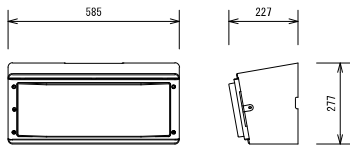
コネクタ	BNC x4	(ワイヤレス用)
	XLR-3-32-F77相当x6	(マイク用)
	XLR-4-32-F77相当x5	(スピーカ用)
	XLR-2-31-F77相当x1	(非常制御信号)
	ACコンセント：2系統	
材 質	銅板	
仕 上	指定色、焼付塗装	

メインスピーカ



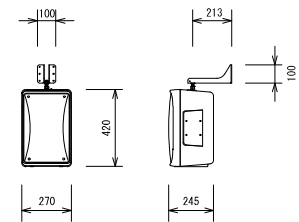
形 式	アレイ方式 2ウェイバスレフ型 (防球構造)
スピーカーユニット	高音用：4 cmコーン型 x15、低音用：16 cmコーン型 x8
定格入力	250 W (8 Ω)
出力音圧レベル	98 dB/W (1 m)
周波数特性	70 Hz～20 kHz
水平／垂直指向角度	水平：90° (内向き10° に対し、左右対称) 垂直：35° (下向き10° に対し、上5° /下30°)
質 量	約32.5 kg

サブスピーカ



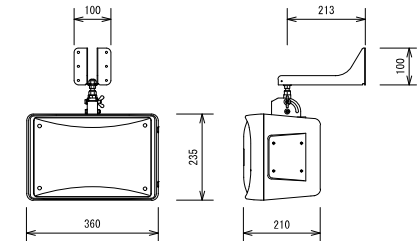
形 式	アレイ方式 2ウェイバスレフ型 (防球構造)
スピーカーユニット	高音用：4 cmコーン型 x4、低音用：16 cmコーン型 x2
定格入力	65 W (8 Ω)
出力音圧レベル	94 dB/W (1 m)
周波数特性	80 Hz～20 kHz
水平／垂直指向角度	水平：80° (内向き10° に対し左右対称) 垂直：60° (下向き10° に対し上下対称)
質 量	約9.5 kg

ハネ返りスピーカ



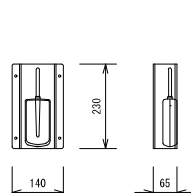
スピーカーユニット	高音用：定指向性ホーン型 低音用：20 cmコーン型
定格／最大入力	130W (RMS) / 260W (連続プログラム)
出力音圧レベル	93 dB/W (1m)
周波数特性	65 Hz～20 kHz
指向角度	水平：70°、垂直：70°
その他	壁面取付金具付

モニタースピーカ



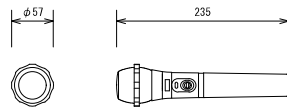
スピーカーユニット	高音用：定指向性ホーン型 低音用：16 cmコーン型
定格入力	30 W/15 W/5W
出力音圧レベル	90 dB/W (1m)
周波数特性	70 Hz～15 kHz
指向角度	水平：70°、垂直：70°
その他	カップリングトランス、壁掛金具付

ワイヤレスアンテナ (防球ガード付)



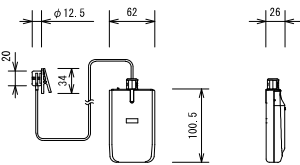
受信周波数範囲	806 MHz～810 MHz
ダイポール相対利得	10 dB (ブースターアンプ含む)
防水性	JIS保護等級4級
アッテネーター	3段階切換 (広、中、狭)
電 源	DC3 V～15 V (同軸ケーブルに重畳)、10 mA
その他	防球ガード付

デジタルワイヤレスマイクロホン (ハンド型)



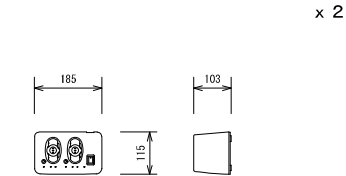
送信周波数	800 MHz帯の30波から1波選択
電波形式	G1E/G1D
マイクロホン形式	単一指向性エレクトレットコンデンサー型
空中線電力	5 mW/1 mW 切換式
電 源	DC1.5 V (単3乾電池 x1) 又は専用充電式電池
セキュリティ機能	あり
同時使用本数	10本 (標準モード)、15本 (多チャンネルモード)

デジタルワイヤレスマイクロホン (タイピン型)



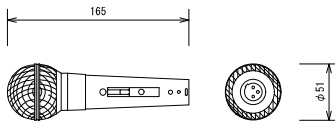
送信周波数	800 MHz帯の30波から1波選択
電波形式	G1E/G1D
マイクロホン形式	単一指向性エレクトレットコンデンサー型
空中線電力	5 mW/1 mW 切換式
電 源	DC1.5 V (単3乾電池 x1) 又は専用充電式電池
セキュリティ機能	あり
同時使用本数	10本 (標準モード)、15本 (多チャンネルモード)
付属品	ストラップ、マイク部用ネックホルダー

チャージャー



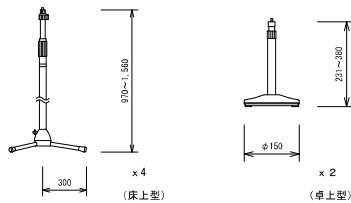
充電方式	急速充電 (満充電検出式)
標準充電時間	約2時間
電 源	DC6 V (専用ACアダプター付)
質 量	0.8 kg
付属品	専用充電式電池 x2

ダイナミックマイクロホン



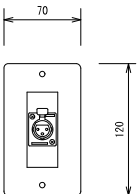
形 式	ダイナミック型 (スイッチ付)
指向特性	単一指向性
周波数特性	50 Hz～15 kHz
出力レベル	～56.0 dB
インピーダンス	150 Ω
マイクコード	10 mコード (XLR3-11C/12C) 付

マイクロホンスタンド

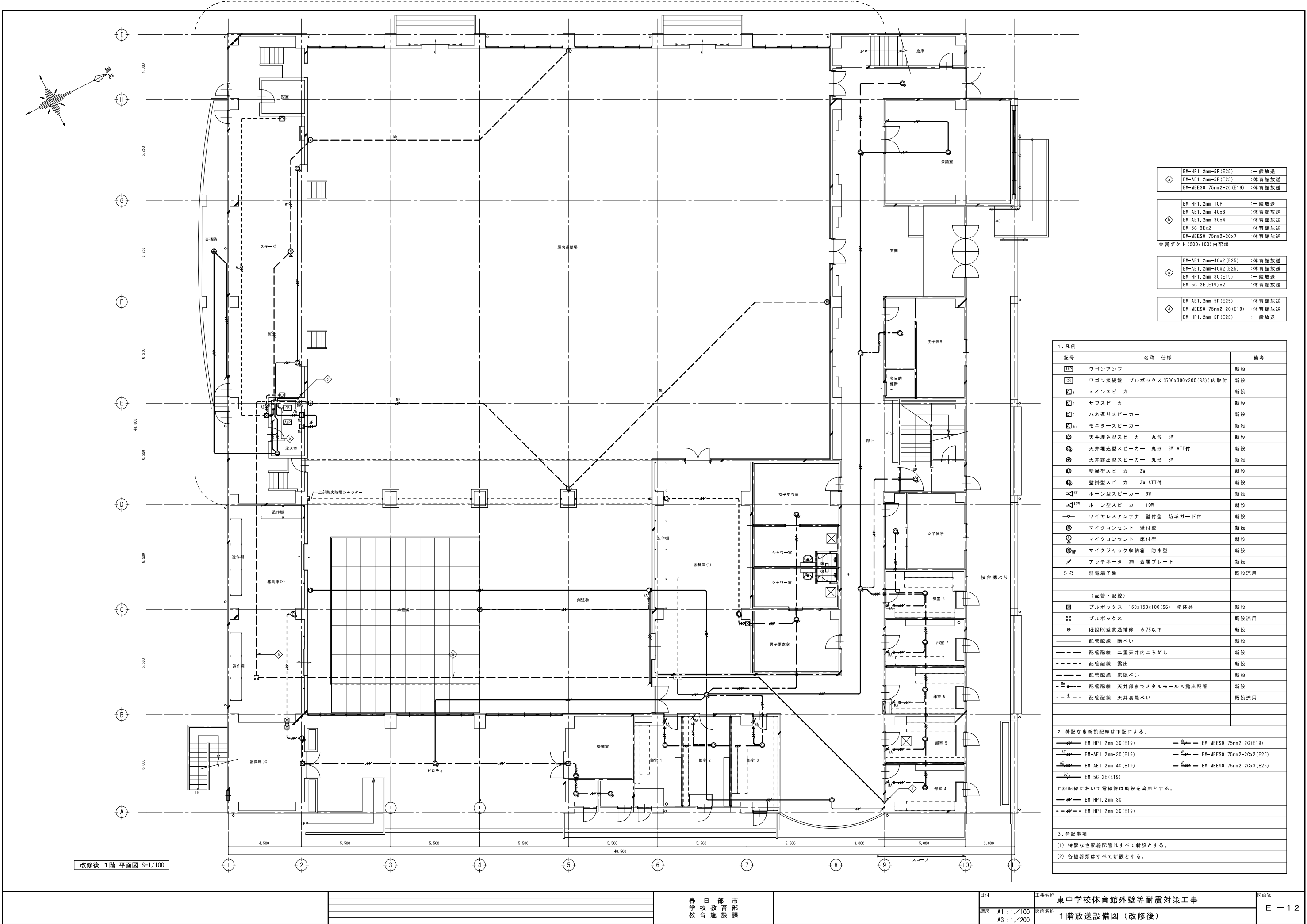


床上型	
マイク取付高さ	最高1,560 mm～最低970 mm
ロック方式	スリープ・ロック方式
質 量	約2.6 kg
卓上型	
マイク取付高さ	最高380 mm～最低231 mm
ロック方式	スリープ・ロック方式
質 量	約1.1 kg

マイクコンセント



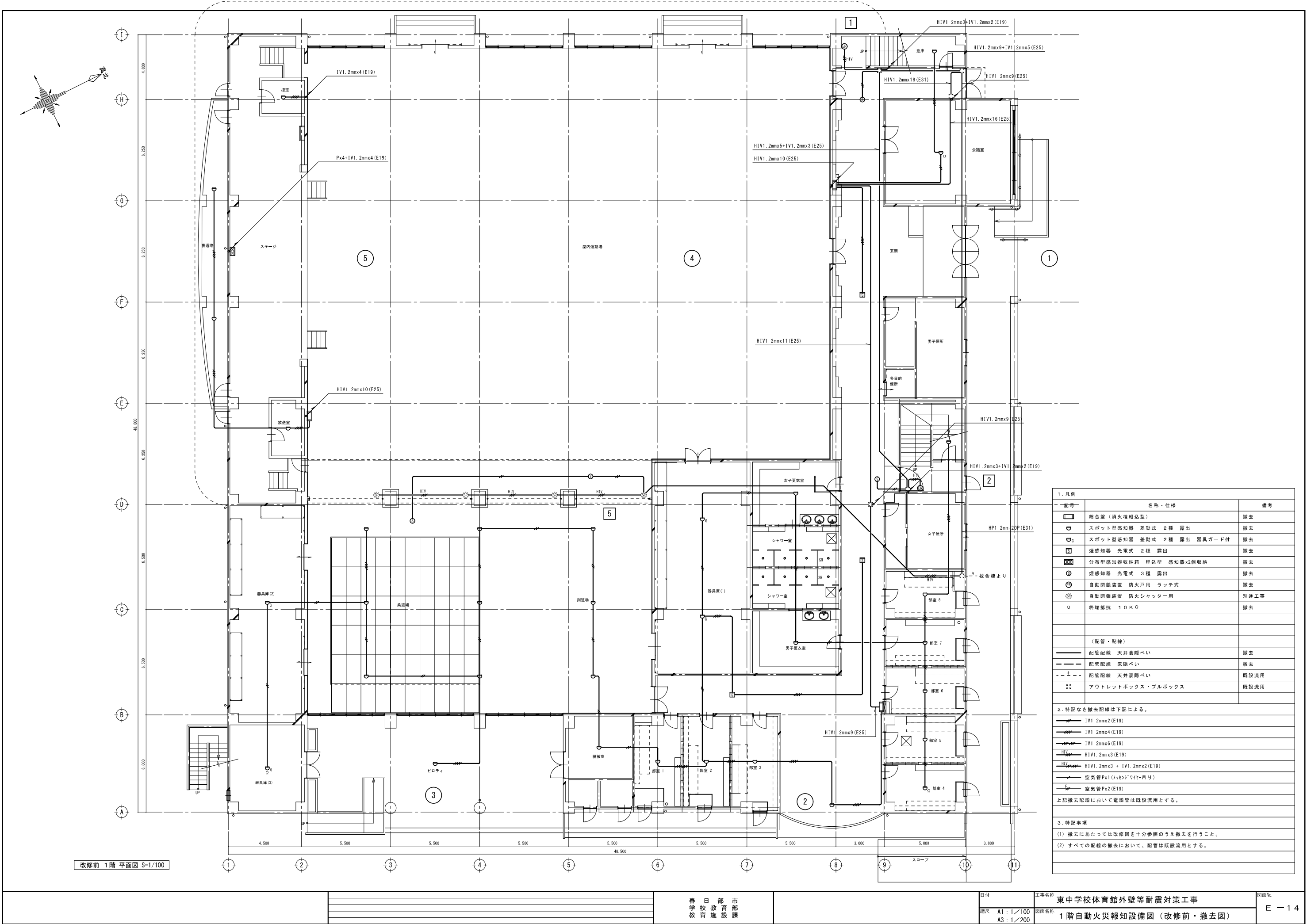
コネクタ	XLR-3-31-F77相当 x1
プレート	新金版
そ の 他	ダストキャップ共



◇	EM-HP1. 2mm-5P (E25)	一般放送
	EM-AE1. 2mm-5P (E25)	体育館放送
	EM-WEES0. 75mm2-2C (E19)	体育館放送
◇	EM-HP1. 2mm-10P	一般放送
	EM-AE1. 2mm-4Cx6	体育館放送
	EM-AE1. 2mm-3Cx4	体育館放送
	EM-5C-2Ex2	体育館放送
	EM-WEES0. 75mm2-2Cx7	体育館放送
金属ダクト (200x100) 内配線		
◇	EM-AE1. 2mm-4Cx2 (E25)	体育館放送
	EM-AE1. 2mm-4Cx2 (E25)	体育館放送
	EM-HP1. 2mm-3C (E19)	一般放送
	EM-5C-2E (E19) x2	体育館放送
◇	EM-AE1. 2mm-5P (E25)	体育館放送
	EM-WEES0. 75mm2-2C (E19)	体育館放送
	EM-HP1. 2mm-5P (E25)	一般放送

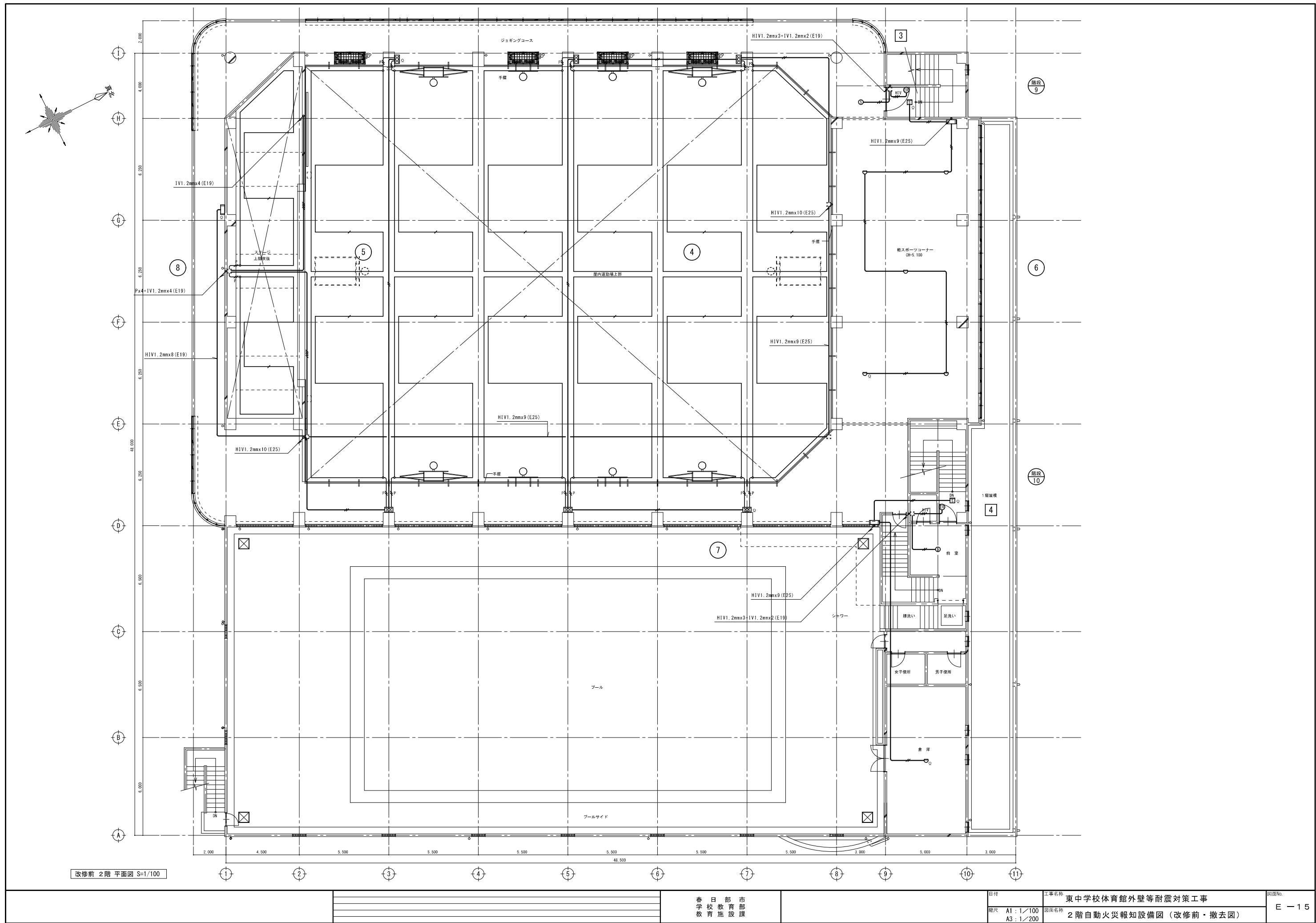
1. 凡例		
記号	名称・仕様	備考
AMP	ワゴンアンプ	新設
CB	ワゴン接続盤 プルボックス (500x300x300 (SS)) 内取付	新設
ES	メインスピーカー	新設
ES	サブスピーカー	新設
EF	ハネ返りスピーカー	新設
ES	モニタースピーカー	新設
Q	天井埋込型スピーカー 丸形 3W	新設
Q	天井埋込型スピーカー 丸形 3W ATT付	新設
Q	天井露出型スピーカー 丸形 3W	新設
Q	壁掛型スピーカー 3W	新設
Q	壁掛型スピーカー 3W ATT付	新設
Q 3W	ホーン型スピーカー 6W	新設
Q 10W	ホーン型スピーカー 10W	新設
—	ワイヤレスアンテナ 壁付型 防球ガード付	新設
Ⓜ	マイクコンセント 壁付型	新設
Ⓜ	マイクコンセント 床付型	新設
ⓂHP	マイクジャック収納箱 防水型	新設
—	アッテネータ 3W 金属プレート	新設
□	弱電端子盤	既設流用
(配管・配線)		
□	プルボックス 150x150x100 (SS) 塗装共	新設
□	プルボックス	既設流用
⊕	既設RC壁貫通補修 φ75以下	新設
—	配管配線 隠ぺい	新設
—	配管配線 二重天井内ころがし	新設
—	配管配線 露出	新設
—	配管配線 床隠ぺい	新設
—	配管配線 天井部までメタルモールA露出配管	新設
—	配管配線 天井裏隠ぺい	既設流用
2. 特記なき新設配線は下記による。		
—	EM-HP1. 2mm-3C (E19)	EM-WEES0. 75mm2-2C (E19)
—	EM-AE1. 2mm-3C (E19)	EM-WEES0. 75mm2-2Cx2 (E25)
—	EM-AE1. 2mm-4C (E19)	EM-WEES0. 75mm2-2Cx3 (E25)
—	EM-5C-2E (E19)	
上記配線において電線管は既設を流用とする。		
—	EM-HP1. 2mm-3C	
—	EM-HP1. 2mm-3C (E19)	
3. 特記事項		
(1) 特記なき配線配管はすべて新設とする。		
(2) 各種器類はすべて新設とする。		

改修後 1階 平面図 S=1/100

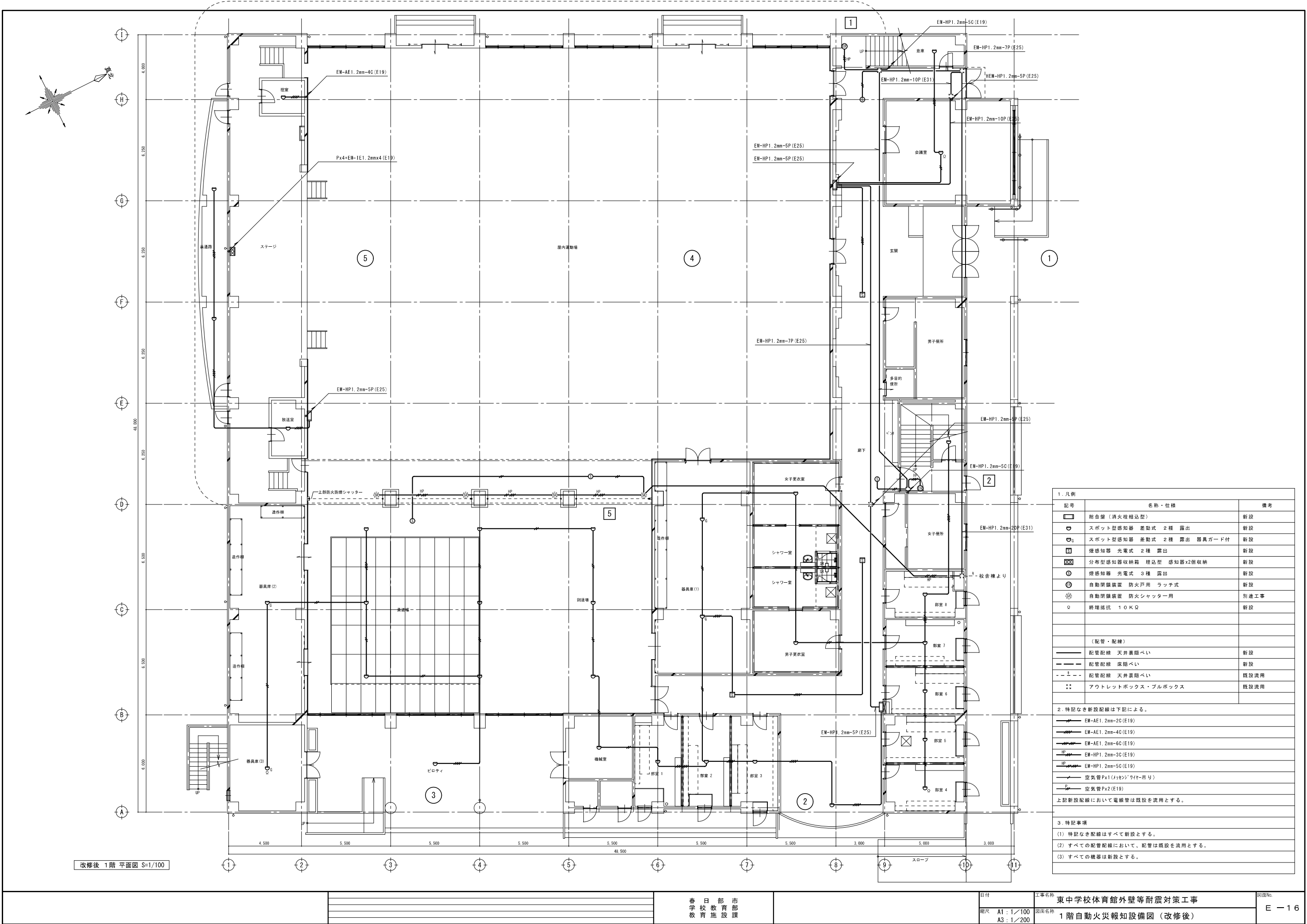


1. 凡例		
記号	名称・仕様	備考
	総合盤（消火栓箱込型）	撤去
	スポット型感知器 差動式 2種 露出	撤去
	スポット型感知器 差動式 2種 露出 器具ガード付	撤去
	煙感知器 光電式 2種 露出	撤去
	分布型感知器収納箱 埋込型 感知器x2個収納	撤去
	煙感知器 光電式 3種 露出	撤去
	自動閉鎖装置 防火戸用 ラッチ式	撤去
	自動閉鎖装置 防火シャッター用	別途工事
	終端抵抗 10KΩ	撤去
（配管・配線）		
	配管配線 天井裏隠ぺい	撤去
	配管配線 床隠ぺい	撤去
	配管配線 天井裏隠ぺい	既設流用
	アウトレットボックス・プルボックス	既設流用
2. 特記なき撤去配線は下記による。		
	IV1.2mmx2(E19)	
	IV1.2mmx4(E19)	
	IV1.2mmx6(E19)	
	HIV.2mmx3(E19)	
	HIV.2mmx3 + IV1.2mmx2(E19)	
	空気管Px1（メッシュワイヤー用）	
	空気管Px2(E19)	
上記撤去配線において電線管は既設流用とする。		
3. 特記事項		
(1) 撤去にあたっては改修図を十分参照のうえ撤去を行うこと。		
(2) すべての配線の撤去において、配管は既設流用とする。		

改修前 1階 平面図 S=1/100



春日部市
学校教育課
教育施設課



1. 凡例		
記号	名称・仕様	備考
	総合盤（消火栓検知型）	新設
	スポット型感知器 差動式 2種 露出	新設
	スポット型感知器 差動式 2種 露出 器具ガード付	新設
	煙感知器 光電式 2種 露出	新設
	分布型感知器収納箱 埋込型 感知器x2個収納	新設
	煙感知器 光電式 3種 露出	新設
	自動閉鎖装置 防火戸用 ラッチ式	新設
	自動閉鎖装置 防火シャッター用	別途工事
	終端抵抗 10KΩ	新設
（配管・配線）		
	配管配線 天井裏隠べい	新設
	配管配線 床隠べい	新設
	配管配線 天井裏隠べい	既設流用
	アウトレットボックス・プルボックス	既設流用
2. 特記なき新設配線は下記による。		
	EM-AE1.2mm-2C(E19)	
	EM-AE1.2mm-4C(E19)	
	EM-AE1.2mm-6C(E19)	
	EM-HP1.2mm-3C(E19)	
	EM-HP1.2mm-5C(E19)	
	空気管Px1 (三菱ワイヤー用)	
	空気管Px2 (E19)	
上記新設配線において電線管は既設を流用とする。		
3. 特記事項		
(1) 特記なき配線はすべて新設とする。		
(2) すべての配管配線において、配管は既設を流用とする。		
(3) すべての機器は新設とする。		

改修後 1階 平面図 S=1/100

春日部市
学校教育部
教育施設課

日付
概尺 A1: 1/100
A3: 1/200

工事名称
東中学校体育館外壁等耐震対策工事

図面名称
1階自動火災報知設備図（改修後）

図面No.
E-16

